企業整備資金の新措置

要納が競表され、これに刺する

を興ふべ会は職を俟たぬところ 國民として、これに積極的協力

> 指置のうち最も注目されるのは 東なる態度と用窓周到なる措配

ある。即ちこの企識整備に伴っ て放出される資金が相當巨額に

然に行はれるであらうが、

機宜の指置である。かく現金に 有価能物による決勝を原則とし よる決断、株式、肚腹での他の

を用ふるととなったのは極めて

顔の多慕を寄廬せず、或はこの

この際この放出資金の債機的吸 てある程度のインフレ抑止は自

に何等かの方法が断ぜられね

企業整備に要する資金措置であ

地すべきことはその徹底せる整 帰方針からして容易に想像し得

その企業整備資金指配法案が

ンフレ関成の可能性が十二分に るところであり、それだけにイ

政府がこれに對して、出來担以ならぬことは皆然であらう。

の認めない方針に出たとは淫鳥

付を行はないといるやうな態度 方針については十二分の考慮を

つである。<br />
最後にこの企業整備

故元帥に續け、ががくすることご不便がの婚い。 新くすることご不便がの婚にの当である

るものか否かなどについて特別

既へぬといふやうな所閣側一主 て、緊急的な弧力性を恥かでも

に全員整別故元帥の腐敗に扱心哀の前の魔器にしつらへられた祭壇の前

**承電=米國東部の炭坑夫船繁に對** 

◇波通費日子氏(朝鮮林業

信念を見める武官府には日瀬取官 節の蔵を表し、敵米英職滅必勝の

肺病治

0

原理

れこめるなかに丸茂少將以下全員

ルイス屈服

新京駐湖海野武官府は可渡法へ割る京野湖海野町は、一大田の東京の日本の一大田の東京の日

皆つてない敵軍な龍梁政統法であれた、同案はアメリカの勢襲史上

長〉五日々あかつき々で

案は四日下院を超過上院に興付さ

一般來上程されてゐた能學職略法

定時に登録、午前十時五十分には

能はわれらの断じで採らぬとこ

共助金の生活保証の性質を有す

に路職を行はず、一律に現金交

あるのである。この可能性ある

牧する根本方針の下に、企業

っであらう。しかしこの場合に 瞬買力化の防止には大いに役立

がいても、「劉一主題を以つて一

浮励勝買力化せざる以前に於い 排ふべきであらう。要するに企

るが、整備方針さへ決定すれば 資金の措置についても未定であ が未定であり、従ってその整備

時よりマイクを通じて『常在派場』
委員長米内海域大將は五日午後九
「東京電路」山本元帥の國際々厳

使は武内一等番記官ならびに五名にクイビシエフ四日同盟」佐藤大

佐藤大使モスゴーへ

米内大將要望

方面より寄せられた香風は千國館

の構度の如何に拠らず、資金

勿論であるが、さりとて、関策 てこれを積極的に吸收すべきは

措置においても如上の級に沿っ

開に伴る決然方法として政府特 の意見に於いて浮動職員力を る限り資金の移動を行はず、

然は上資金、特殊預金または時

ついては大いに蘇論がある。 徴にこの原則を強行することに 開法律案前に領知案の臨時競自

題を依つて、敵々安行に移合

人なるものがあり、 その方針の 脳脈的、此會 的影響は 極めてであるが、一国企製整備による

ことくたった。我國際時

西海洋協成の最終政治を領土

頭金の迅速風滑なる供給とその 資金搭載法案の契例によれば、 四日の脱離で決定破裂された。

供給された 資金の 浮動購買力加 配の二項がその母子となってゐ

徒らに整成するものではなく、

令たる戦力増弱の緊急性よりし

0へ交際を來す所翻遊効果も登

られるのである。従ってその

も早や不可避の搭置であり

**心部** 現くも 天黒壁下に

を離らせ給ふ 放元帥の冥福

日億大寺侍從を営水変社の同元間召され、特に選挙に先立つて 元郎山本五十六海軍大將の威死

一谷の郷場に執行はれた國際省 五日は畏くも陰朝致され宮田 なとはすべてあらせられず

終日を過させられ放元帥

られたが、製國家様のうちに

関心の自風感制の確立を交接

際は選目にわたつて黄河南岸の敬

した繋道によれば、わか荒骸部

省北部の活理、整版、版式、個目 を三日午前OO機の大阪際は河南

帝する中共憲法に對し新中國の政

武力壊滅もとより

治力がわが武力に行館せねばなら

数く、全國壁の感きせぬ返暦の減と一番を関する。一定のでは、日本のでは

新場の の を終へた五日午

氏く触れる心道には元帥の魔を迎

へ送る人々の群、酸缸にもつづく、

億の 國葬に際し

蹶起奮迅

同八陪卅五分終了,引猶老十時廿

罷業彈壓法案

米上院に廻付

祭同様の次第をもつて阿十一時十

嶋田海相放送

るらに左折して

平州街道へ、

平旅

坂見附、
四谷見附から
新宿三丁自

やがて場門が離かに明かれ掛穴の一

概を納。然既古に附り師くのである。その「は武く黄昏れてここにわれらの提展がの」ともその師く最はこれによって別「名將を渡りまあらする武蔵野の夕」

**製主義正氏をはじめ親族碧末、莊** 

埋められた、県呼元帥脚去ります

海瓜將梭、雞雞蛋白長以下 (数田海軍大將ほか三名)液通安

十四台の送祭自動車は虎ノ門。赤

次中佐暗郭の墓庫、喪主、親族、 よび司祭副長、司祭長、海田略梭

祖にもはつきりと心に刻んで戦闘闘へて決成日本の決意を悲しみの その人波はいづれも元帥の偉助を

を見送る、三時五十五分盛単は盛

魔なる機相を呈し、残忠の昼節 【東京電話】大東距戦戦局は今や

した、放送災冒左の如し 旨頭頭して一僚國民の批説を要認

木立の中に強々と立つ白に到着した、初後の、

木の須屋、盟廻らされた観路はあ

車の到着をまつて暖かな場所の後

皮 T山本元郎の國際に際し」と既 で T山本元郎の國際に際し」と既 値けつ\あるが、 嶋田海相は五日 将兵は北に南に波風に強く波風を

に散米英敵の東語における根據を

攻益地を獲得して熾烈なる反撃しつ。北方に岸大平洋にその反

【東京西話】神殿の類張る多路の一ともに元帥の原車は静かに発退を一は執り行はれた

**尽**悼盡きぬ墓所の儀

間ほのかと据ぐ五時廿五分、伶

島太后三陸下の御碑と函縁ならび

震五日同盟」重要より省地に

河南省北部を猛爆

元氏に呼吸出の本領を疑揮、重

根本方針に基っき施力

の武威徹底、新御朝の継述を加いた、我方の武威徹底、新御門は敵親力の低下、我方のる何向は敵親力の低下、我方のを開い、地域的に擴大しつとが集別的、地域的に擴大に関係している。

北文は大原面の基地として健命達 ることは欣快に堪へない

**强うしてゐる、一方掃共態端を地** 方表梢に至るまで激透させ配力な

取行しつくあり、中國軍系また島

黄昏の多磨淨域に

聖將永へに神鎭る

大成戸部隊長は記者源と曾見、北めつゝあるが四日午後二時北支軍

北支軍の戦力は数ケ月

段の成力を加へつつあること

・ 関語 | 對文政策轉換と同時 | 進、もつて軍本然の代称に做しつ

機動性の向上に努力を領中、有形つあるが土氣の副新、鰯成の弱化

めるとが開北一般の数緒である。

黙察北支軍の所信を闡明

【東京書話】武器原東京京場所で

係の賭盟院、諸母社では同時刻

質に選择を行び必勝政闘の背

立されたとの外電に関しては外務 によりアルゼンテンに新政権が耐

何ら公館なく外務営局は

「東京電話」國防相ラミレス將軍

我が方慎重型國革命に

原場に向って歌劇な遙珠を行った

なほ朝鮮戦闘の、中央自和商で

蔣共軍殆んど潰滅

に中央市野や四角町町の町板橋地を観測しまが出場内の治安を観れて、関五町芸紙製造以下三千の國际町域の参加をはじめ大なる原名を敬む。

長以下駐在員並に出張り百四十位 **比五日午前十時五十分井坂出陰所** コ、航空部隊の活動 山砲および追撃砲一八八、軍撃機四三二および歸順七、二五〇、「主要鹵獲品、原を取る者二一、五〇〇、俘撃交戦回数二、二一八、「交戦兵力三五一、 南支方面 戦回数二、一一八、 交離四月中綜合戦果左の如し

三門俘馬

たゞ一つの中立國でありプエノス が、アルゼンテンは米鉛における 多分に宣傳的色彩をもつ酸側情報

せられつつもとと風なり の攻勢企闘を封設す

たはあるまい、要するに北交

核地郡としての傾命は一層過算し、成を期し來ったが更に大東亚の中

きたつた、即ち北文な郷中國の一 質に日華 両國 の物心図

統領は開館一石と共にプエノスア

徹底的に膺懲

決意を表明

「リスポン四日同盟」エービー通

農職数は七四八千八十三人に適しンは『戦争物登以來米軍將兵の排 たうち一路一千三百七人は日本軍

こぶる平静にその生業を替んしいはれる、この國で開戦後も

米船三隻竣工。「プエノの帰郷となってある」「前級表した

2、管とするアルゼンチン頭の一部は なへ は、國防相ラミレス際歌を結損地 麻 スに向って進躍を開始、プエノス 既下革命軍八千はブエノスアイレ

) 來信 — ※國整相ステムソ

外相イーデンも下院に出席してを叱至つた、ロンドン來館によれば

らずロンドンを留守にしてゐる既

に至つたため、すでにソ歌に転き

テルがワシントンを引揚げて以來 代表會談か

米軍捕虜七萬

【ブエノスアイレス照日同盟】ワーさらに商船三安、窓トン数三路ト ンが数工した官務表した 米英ソ三國

【チューリツヒ四日同盟】テヤー

ジプラルタル軍港に立客つたとい

尺角高さ十五尺(地上十二尺)

で政府軍と小競合を演じたのちブー大衝突は報ゼられてゐない

軍に参加してゐるが、海野部隊は 平脈を持してをり末芝政府軍との れ、またアルゼンテン空頃も革命での所、革命取は総数一萬といは な機関を加へてゐるため詳報不明 のる関係で、 配信その他一切の通信に敵類模様で、目下アルゼンチン政 は、アルゼンテン革命年司令官ラー信祉のブエノスアイレス関によれ

ルト・ベツトに對し電報をもつて 三日夜アルゼンテン大郷院長ロペ 背後に米の魔手 の決意を表明したと思へられるの決意を表明したと思へられる。

ゼンチン官界ならびに政

【リスポン四日同盟】プエノスア |エノスアイレス市の咽喉に迫って 亞國革命軍は親米派 別悪常主義者であり、妙聞軸

【リスポン四日同盟】ロイター節 既によれば、アルゼンチン革命野 フェノスアイレスからのエー

は四日附官報で印度支那に混合

「教心」 放映の神殿、歌山、大野への向 「教心」 放映の神殿、歌山、大野への向 変語に質用され、大野への向 変語に質用され、大野への向

佛、印度支那に

七特

種動物ホ

粒一夕朝

中國民生育成

華大使語る

ずフランス人二十三名、原住民代 と脚する路間機関でありとりあへ 参議では慰悟に追脳し一殿の國政 設十名をもつて構成される

(美信)一週分二週

版 晉 東京七二六香 成語京第101 第九〇四番

して采配を揮ってあるといはれ 亞國最高法院

リスポン四日同盟」モンテビデ 革命軍承認 テ 合せのため五日午後一時上海より 深路脈師街・四二時四十八分東上 以上だが、樹支用巡ら隣して左の加 く配つた

法院は四日革命学の組織した行政 オ來館によればアルゼンテン最高 密以密を承認する自然表した 夜尿症に

此の良

影響を頭へてゐる、今回图

一土十州州

陰疑弱中强

標の周崎には畏くも 天皇、皇后 上る時、その時こそ故元帥の芳魂 **大動位功一級山本五十六雄』の塾。は民一僚が新たなる決意に燃えて** とも別々と主きついするりと 丸」とゆうお製が富華川堂にあすが、その摩小便に強く「陽光」とゆうお製が富華川堂に強く「陽光」 現代町(一六六八)曜山営駅に のか歌します。 群しくは熊本市 方はゼヒ御監督なさらん歌かりますから、夜保佐でお雨と 電話】谷駐廟大値は要勢打入 五十一分容略入京した ため五日朝上海蔵、同日午 谷駐華大使入京

後五時の公式の

【解說贈呈】

米大統領任期 總督府辭今(IIIE)

に控へてアメリカ政府の一部では 【リスポン四日同盟】ワシント 任職政治が治(中)

られた故山本五十八元帥の墨所で

兄配話】**國罪の厳をもつて**即 ふ 権舍祭

始合れたといはれる。民主献上院 シャ・ヘイリーは三日上 印 任選警視(七)視別城警察署(四)本府城 田中 宋府明孫信(七) 四路周

年に制限せんとする憲法修正案を 任道暨制(七)平安北道在2 五万 器 を 類 が 正明

(大田塔長) 阿州大田警祭昭長 - 加 基 伊戴男

來館=今次炭坑能業に刺戦されて【リスポン四日同盟】ワシントン

陽陽 陽陽 性性性性性 核 檢

~ 精核感染の臓器とす

病の前階段とみるべし。疾勞感。神經衰弱。微熱。姿態の神經衰弱。微熱。姿

肩體

ある中国子 返繭 方と、國るなでと國興中遺信をも新に好と

元元 麒 商机 丰店新



電節·親明·命李長 肚會式珠氣電浦芝東東



: 作々

共株式會社 東京・第町

作成下次第274。

ン脂肪、繊維素其他塩類分解酵素等數理を 含有し、食態不振、消化不良、其他胃腸側 (能) 30酸 100酸 (宋) 14瓦 28瓦

-13

成金を交付することになってゐた

間質此より一枚につき五十銭の助

日の全南を最初に三日服北、太日東作を豫徴せられた共和の

では、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、

最盛季は十日から廿五日までとな

全北の春蠶

ってをり共阪目標吸頭は十一萬四 は七月五日終了の豫定であるが、 計畫增産の達成に

金羅 春繭供出を督勵

特別預計にこれを輸入るべきと

企業整備資金措置

法案内容發表さる

里に跳線所を威器中であったが、日本として黄海道・東二浦島外界上

った、而して今回の愈醸では従來し

窓である

佛租界の返還式

即等が竣工、且つ職員**側**も所長器

り甘む日盗戦潮へ橋木堰事
が風五十歳となつたが、奈徽する
開北へ小辺野御社長▲廿三日よ
が風五十歳となつたが、奈徽する

租界公蔵局大概において國民政府

界返還式は五日午前九時半沙亞

ほどの油版もないの

場において駆行した、フランス側

た人型代の有機さには、不意に

【天津五日同盟】天津ブランス祖 歴史的朝印返過式が製行された

五日各地で嚴肅に舉行

朝鮮の戦闘石は鮮内需要の増加と に増大したため本年度を機として 文を朗麗し目録とともに王市長に

本社寄託献金

置種業者整備成る

千貫である

の鐵頭石織給計速の確立を機に鮮

【漢口五日同盟】漢ロフランスな

(三)地方貨幣に即し腰村青少年 は開墾に従事せしむること、み は開墾に従事せしむること、み

光するとゝもに一番多角魚類の解

これが遺成に寄興し得べきあらゆ 國民生活確保の絕對的要請に應じ

の場別、牽索肥料の全層施肥、 質面の相作に既全を期し栽植会

は増産の除地最も大にしてご

「東京電話」家所の館館増越騰総貨票登職は四日の総職で決定しその大栗は作業したが、右に「一種な)無規律ではその部組は内部を次の罪く違義した

國民生活の萬全策

食糧自給體制を確立

表發綱要省林農

機関に検討を加へこれが増盛をことと

あるところこの際米、変、諸烈な

際とくに左の指訟を助ぜんとす

施設を實施するほか左の搭置を開

は (一・主要食品の自給値 る 化施策の政策と関係し待に左の も で 事項を表彰さるものとす 技術制質を関係すること も 世代(3) 不要人会性物の生産抑制を こと も の他代析統制の徹底を期するとと し

勤勞の欣び

ゆくりなく友の

も、その一蹴からは、神君へなど

投資も絕對決戰型で!

留で思ふ存分に競弾させませる時局展覧資配の生産力を発等の役 単碑の組忠と既、國家が要求する

調督所は五日附朝鮮臨時租税措置 臨租措置令に

と申しました。そこで、そのこ

展は、私にいろくのことを即へ いたしましたが、その初めての解

これからの何精道をお覧りいた

夏來れど

刀的な作品と、新しい傾前の前

と四つに組む一たしましては、このまゝぢつとし

梶原緋佐

日本畫雜感

CEO 子

るため必要ある時は政府は一本確計に置する經費を交

貨機において借入金を

歴券』の下に『朝鮮食仏館券』

一百二金山中駐艇顕および銅鉛、

浦二鐵鋼勞務者訓練

初代所長に勝尾少將

朝鮮における休殿上対象金山は昭

正式決定するはずである、右のうちには朝

者の特別金計法案の内容は左の如くである **登行に関する法律案要例(略) 「朝鉄食物管** 理特別<br />
四計法案要例<br />
が含まれてあるが後

もつて株

**米穀** 

生産を確

保

容內表發局報情

<sup>龜</sup>管理特別會計法案

になる指定事業を既定二〇一件が ら新たに取引所、自動車修理工場

勤勞女 家庭

質 十日午後二時から会千代舎館に 茂山開發、利原急峻、維紡蟹陽 三和震山、日気嶮撃、震震峻、展 平震御山、日気嶮撃、震震峻、展

計数途行の西至を期することへし 等につき頻山隙の西筒を聴取して

の七趾代表と支部より汲江野部長

▲百十四萬四千 昔は、男子ひとたび

このことを思ひますと、現にも 映畫『昭和十九年』はこのほどを る、同映弦の内地配給については 鮮映造新燃制以來初の内地進出に 後の指定を得たが、

> \* 本錦

都

南

14 111

◆京城國語教育研究會 八日(火) 年後五時半より京城南山國民學 文化だより

角にも一應は熟まれながら、中央 で勉強をして居ります私どもとい

吉井旁選

夕西つつが

痛・筋痛・肩こり

大阪・東京・京城・奉天

・粉末・百宝四、青宝宝四、青宝です。 との 湯布は 三十分でよい 効力は 三十分でよい 効力は コリや痛ぎを治します

株式會社 藤澤友吉商店

4時間:三十分

一概範有需給の最大の陰路とされて一保管事者間に折断を避けられて來 潮洲國東遷道開發會社の太栗子蘇 あた<br />
歌<br />
芸問既については<br />
しれず<br />
外 を負地することになった、右続道 取提の潮水時までに完了の 職を送げた結果環境標高

傷的な作品との二つの流れを見た

ますが、いつれかといひますと、

ることになり、強て日本映遊社と 御巡狩映畫

献上することになった ところこのほど完成、近く常宮へ 文部管で配定









傷男



平吉、昭和治八年四月 東部沿岸 東北山河道東 馬音技

お療法



りをよくせよ

 $\bar{\bar{o}}$ 

正 哲豐<sub>輝四</sub> 三○式 名 三○會 <sup>□</sup>會 三音 **社** 失社

**登** 記

麗公

偲ばる

聖將の遺徳

一同はこれで仇骸米英を撃って下國群日の五日無路三和影番の校生

のいと金一千二十二層を練路響い

訣別を惜む送葬者卅九萬人

競表したり航祭機能納査金票集の一

大いたく感激し各自の概念が一馬回 の に適したので康原結果氏は一門を の 代表し五日甲醛國部を訪れ國防駅 で表して日甲醛國部を訪れ國防駅

帝託した献金左の通り

れる後一日祭まで奉仕するが、芝 四春年一間三春敷板間附の極めて

滅の歐領心に燃え京城府兵務部に

山本元郎國葬の五日仇敵米英郎

の四氏は盛間にしつらへられ

京城南大門通一ノ一二昭和譲物會一國民哀悼の裡に迎へた故山本元郎

三和券番の妓生 餘圓献金

光榮の墓所奉仕

元従卒だつた芝田老兵の感激

二國八十錢を府郊盟に献金した

故元帥令姉談 なは同刀自は路行事完了次第選号の一部を融って暗郷することになって暗郷することになっている。

【東京電話】圏郷の際に参別のた一元前頭第日の五日を押し京城府が「の一角を騰霧地における勝所の殴 翼資金の先陣 朝鮮無盡から 永遠に神輿まるこく線深き武窟野 【東京電話】可配山本元帥の忠魂」も激りなく終了、参列の製炭、米」と伦策し領艦日選に頻繁元帥の公

**送葬の位置につかせられ、通過の** 在場中の伏見宮何明田殿下、李沖

孝宮、順富さる

1全塵生五百名と御一郎に発謝 やうやく迫り前まりかへった圏湾 ノニー、飲食物)は日像散役的

十名がそれら、引揚ぐるごろ響色

| 蔵太郎さん(深元) (解師市人宿町二

英靈水へに安かれ

四の巨額に達した 期間をはじめ午前中に五百件十萬 が殺到、石川島造船所譲収省の二

【東京電話」山本元帥國建當日海軍

一君(カリバビ競事務次長ヒトカラ

に對する一際意味の國際の日を理 ・デュラン氏令息)などは故元帥

へ『山本元郎を悼む』といる題材 で左の如きいたいけな哀悼文を綴

海軍省に献

としては全國一を誇る断股の心 が整へられた、梅太鼓の撥形が

東京・春原 豊富 三丁日東京・春原にもり)

中路第二十歳以上四十五歳と可成國語ヲ解ス

た。

種路本局(2)二六五

0

六日より開店

**聚裝 津田信鐘淵實業株式會** 

受する盛であるが、本年は説が

**外閣、やけど、特、ひ** 

其7他詳細ニ付テハ※ 一、 出發豫定

傘下に一席数千名を収容する新式

イ沖海殿の蘇々たる武勲に輝くさ

四本元帥が肚烈な電死をなさい本元帥、聯合 艦隊 司令長

【マニラ五日同盟】ハワイ、マラ

**兀帥の魂を繼がん** 

節窓に脈念する」

満掃して米英必滅を心から所念す 道興行協会の五百名は陸軍臺地を の日、用意を擦げて休楽した京都本精神に纏げくを叫んだ、なほこ

比島の童心が綴る哀悼文

きの職合機隊司令長官故山本元郎

に對する比島少年少女の思慕と尊

海軍大將正三位大勳位功一級山 たる時間は木の香も新しい。こ 部部長20个群勝民間、海軍將軍数 で恋願を受けた老一等水兵の芝田内郡能を貫長、嶋田海相、水野軍令 兵として忠虹に仕へ今日に至るま

|五十六之墓』の墓標が鈍い常穏の||點にも一生一代の奉仕に固い決意

入りの海軍艦をかぶり白くなった

を思ばせてあるが、一昨日上京と ともに山本家の許しを得て今間の

の追慕と欣仰の國民的感激であり **之英意神輿まり給ふ故山本元郎へ** 

車の小城にも黒布が附合れ種の一種配参乗の府民の足は街を往く電

前田敏

いつれも美しいお話ばかりてま

夏服の上衣を廢止

麒麟輸発戦士はまた逞しき肉獣を

会散験送の頂任を果さねばなら

ける中の品で開催

鮮鐵鍊成漕艇大會

-コレクチッニ

明子公子は「正古」となどようでする。 朝鮮製練ビル内ではないます。 京城府太平通一丁目二十五番地 京城府太平通一丁目二十五番地 京城府太平通一丁目二十五番地

大藏省が率先實踐

合を通じ一般に販賣する

解語間の後に懸みくるものは今一から勝間の恥覚も気まやかに神宮

府民達敬弔の默禱

ふ」の氣持が誤ぐましいまでに過 少女の『敵米英難滅を故元師』 ン
対、
故國を選く
離れて

懇ぶ日本

がなってし止まむ この沸り起っ

他の三氏は赤坂區曹山南町六丁一阪阪心の昂揚であった、五日早朝

埋葬第一夜のこの夜道置と光榮を

が却つて滅域の傾向にあり、永登 | 報出さうとその 基本 工策を練る

電管内で昨年一月から五月まで

【签山電話】朝鮮林業開發社長渡

時生活開業化を変行すべく、次管、品との原別が判然し難くなり場が即該し政府では郷先官監護員の職」なほ一般小室店から裏出すと合格

大會を開催する、参加するものは

こあるが、六日午前八時半から演

省では早速今度から夏季上衣の歴一これら非合格品は大徹路仙級のも

を置行する、上衣だけでなく、カーのが主で白の無地のものが概算に

定制會賛翼政大

置議で申合はせを行つたが、

敢闘する農村 渡邊際社長の談

の零宮、暦宮爾内城王殿下には午「り翌田院長引奉の同院中等料、高一英鷹を御郷院後発郡滅にされた治したが、女子県西院に領在県中一月宮光子女王各殿下方さはじめ奉一発郷の仏蔵につかせられ、通過の は暦ケ陽大概省前の沿道に塔列藩」久遠宮正子女王、同朝子女王、伏一様にも御墓友九百四十名と御共に

対理が指揮を取り開催には、日日の成出本元
 対理が指揮を取り増進には、下る中
 地面が別性をはない、下る中
 地面が別性をはない、下る中
 地面が別性をはない、下る中
 地面が別性をはない。
 大田から向う一ケー国大阪変数度
 はない。

一山本 精神界 揚米克隆波陀著 は『山本元郎

聖旨を傳達

元中佐は五日午前十一時半千葉縣 。軍壓壓飛行學梭に來梭、秋山

うな郷官願を決定、來る八日の大部室蔵日常 は既に難々しい火壺を切り京城府的窓の大々米英麗波の発信も新に本年度國民的署攻略極 職する百三十萬形民の熟意をいやが山にも具 目標領二億八千七百萬四の貯蓄完遂に真整散

盛上る一億民の熱誠

開発がは、信息の 師の國発日を期

決戦生活と睨合す

本度年の個人貯蓄割當額決さ

言を通じて一般に徹底せしめること
こなった

貯蓄増强へ

して行はれるが、撤退軍河動開始 本婦人會および各種側間を認動員 工場衞生强化

衛生思想の普及につれて漸次減少一の密管密に限られてゐるので同盟 永登浦署で打合 あるが、その酸生場所が殆ど工場

あつたのが今年同期には一瞬十二 の説明がある宮 に集め『衛生打合音』を開くこと

一般の墓参は七日から

包まれ、薬側に夜を徹し率仕する 古式保しき事所の限も誤りなく西 まりました五日夜六時多路整地は んで後は更行く夜のしじまの中に 【東京電話】山本元帥の御懸神鎭一は七日朝八時から差許される

に次いで豫算新職等が行はれる副議長、敬育會第一、二部長の決定

泉城府では七、八の兩日に亘り午

推薦制初の府會

さる三、四の兩日新宿、銀座、

日の五日、午後六時か つべしの決意を可憐な も熟く燃え仇敵米

頭消傷化

脏食 暈傷

音聲を善く

際が級々と海軍省へ殺到、午後はを見送つて感激醒めやらぬ献金都

忽ち廿餘萬圓

國民赤誠の献金

一時から推願制初の府會を開催

退藏品の更生へ

衣生活新聞制はさる四日の慰認決 よう』『有るものを活用しよう』 が、古着や退職衣料の活用に、な くてはならない。端切や疑光、跳 【東京電話】勝ち抜くための國民 態の銃後駆けて『新聞を見合せ

総骸起巡勘は元帥國葬の日より

開始された、 をとって、懸命と

ので爾工省ではこれら補修用資 大相撲·京城場所

まゝソロモンにア

リューシャンに支 大陸に強く 力となって響い

力、足の力はその く女性をちの手の

**岩浴 米英を整って撃って** 

てゆくのだ、

一必す頭が悪い

鼻の悪

高烈世界の 耳目を <br />
驚倒せしめた <br />
後の<br />
気観を晒ふ大日本相撲協
留四 十六日から一週間開場

治療薬を教へる

れば不自然な生理サチンの純粹品な アセチールビスオ 作用なく快よく便 シフエニールイ 極めて卓効あるといふ

原帶製架工架株式會社

本 料。 東華洋行 東華洋行 東華洋行

東通給服合員)

化香

社會式体を含本日 ドニコレニマクビ

白いなる死は同時に巨いなる生であつた

第山本元帥の機上 職死は 日本一億の 胸 既波策闘精神となつて花開いた、全

規格品外再び登場 が多いのでこれを一般から六級 近五朝、六級品は一間、三級品は は三割、四級品は一間、三級品は は三割、四級品は一間、三級品は にある。 定したのち観雑製品小質商業組一時間校問着解散するれぞれ格下げして公定価格を決一時間校問着解散する 時能町國民學校を出發、冠景

青年隊の錬成行軍

第五年生大郷館四二州一名、そ

で育んだ新潟殿長岡坂元上副

際のときだ、大いに暇へようと

長岡、東京、京城の各放途局殿でんが最後として各自五分間づつ るん、開棄被佐々木康子さん等

緩下劑也

せ、一般と極地感見を置うと 日次の 自燃で関係項を 申合は 山本精神に緩かんと必勝完盛の しの日龍山路でも午前十時五十 誓ふ職域蹶起

う▲像鉛の百分の二を各目主義、日の丸が留で浸ませ主義、日の丸が留で浸ませ

質感が出

てるね

報道班員三輪的見毀化『南方スケ

で二名が至三名の製生回診説を続

雅、 圆鳃、 北回規町

時頃、日曜日は午前九時から午後 成し、平日は午後一時から午後五

いた作品を展示、皇威治く光被

一筋ねて相談に限する

田植の奉仕隊

|▲七區||十八磯湾塚町一ノ|||本七區||十八磯湾塚町一ノ 股部從業員一同▲五十國始町廿一十一週沿泉町一四七個匯別渠程配額一ノ一三七種田竹一▲百七十七國 容配した 現れ、中村常路の案内で「キャビ テ軍港カナカオーほか、甘助 質和を確同、 ひよつこり 食場に 時松本海軍大佐は尾形大尉、村山

京城三坂第六町賀子供溪國班員一

感激の一萬圓

昭和織物の赤誠

原レ返腹を膨したもの るようと目をほぞめて厳質し、 シーライオンの機能」の前ではし も一巡して二時半頃引き上げた 利用、千二百名の大部隊が躍村に

献金した

織物株式會肚、取締役康原為夏氏 京城府南大門通一ノーニ、昭和

でないが、他に

かったです

※を無ねて回診相談を行ふこととなった、日温は 十一日―背景町、同部町、戸町、 中一日―背景町、同部町、戸町、 十二日、楽景、中林町、▲

建築修理過

大型百七5音館 中本ニュー ・ 供ごコー

ろス

一〇、池盛吉氏が持御した石

坪菜園に精出さう

肥料には米の磨ぎ汁や灰等を

**仏陶米英を醸たずは止まむ** 後年島の赤賊は燃えに燃え

ものは地面に穴を掘り簡單な概をしてその中に放りせう一種類の疎腹や野菜の切れ端その他の有機物で

の闘現路内形なるとき、

あり、海軍大臣の脳かな命

亦誠の翼・兵器

ふ晴れの命名式

動場で輸田海軍大臣代理、 小斑陽路代理、高京國道與

合唱し高観器唱、説捌あつ

をおけて決職下の経験地震に協力 の協力を得て來る十一日から五日をおけて決職下の経験地震に協力 の協力を得て來る十一日から五日をおけて決職を されるやうなことがあってはいけ

してゐるが、ともすれば親塔技術一間形內一國に真つて藍菜栽培の指

**職民造の好害を傷び一株の野菜で一の幼稚なために折角の作物を顕認** 

園藝校生が各町巡り

好

Ħ

晴れの特選

紙上展覽

栽培ご相談

て式を閉ぢる

に長春の命名式は六日午

野神、 献納機の名式の観を 名の際、ඛ輪かのって配輪・ 変

六十ケ所に松炭油工場

本場全北が大々的増産へ

に拍車をかけてゐるが、全北道

かす血の一滴にも等しい油が松 から採れるといる快報は本紙既 【祭川】船を動かし、機械を助

村の関まぬ努力が見事に凱歌

**咸南の田植は好調** 

道精進であり特選既に六回、羊々

たる

族來を

吸図されて

ゐる、
うら

の通りであるが、江原道では

氏の研究により松の「金州」松炭油は本 競技と根据を主称と

> 質別、竹・熊常殿成大會を行ふ 新村町延絕專門歷校迴動場で町會 こちらは町會 四大門一 「大路里の、あたしのお友差に勝って大路里の、あたりの」 「さらっそわばよかった」 ない。 **【何厳で手に**

年在島中初入選してから久しい登品特選の焼を揃った、第一高女三 由于代子さんが今年 内大和町ニノー九田 度で馴染る深い形 中干代子氏 安らかさと豊な郷土色が滲み出てある。大和町の實家で父徳太郎氏 「はゝ、整骸機の修織に値ふので 無智な彼女は、フロイスの出館

事務員採用

コースを

洋裁六月生募集

齋藤合名會社

一种表面的 1 一山路院 一山路院 三山路院

基本日

みがあるんだけれど

小包にして残ってくれないかし この所輩は、小包を出したら、

「ところで、藤斎に、もう一つ粉 今、君が買って死てくれ

菱乾夏内科

**\*\*業工信通友住** 

子事務員採用 山南門

松下電機產業縣院機關 者は皇の医当行業人间以

住友の通信機

形が確認され、油不足の折板船 血験の結果、重油代用とした性 により抽出するもので最次の 一段追過域における低温炭化築

で<br />
更地<br />
脳凹<br />
雪を<br />
関値することに<br />
で<br />
更地<br />
脳凹<br />
雪を<br />
関値することに

「海準」國民服と密囲非で顕然日本式疑然で行からと、清潔府

道省局ではこれに滅足せず従來 を新設、増産に選手してゐるが

これが撤退力である技権員を多

野球は卷脚絆で

を留立し、 製室な山の 重線を

は六月一はいには指付けを了すば六月一はいには指付けを了するものと瑜擬される かへられて前哨威に於いて豫定だ水田は日一日と腎一色に強り

黄金町六丁目電停南 医学博士**橫山久衞** 電話東局二二一六

本ニユース

て排泄する薬。但し、榮養を吸収賜の中から悪いものだけを吸収しを整へる薬。下痢を止める薬。 したりはいたしません 類頃 近〇セン・一円

光

藥







**豕**具體 更生

友衞

育門目開









**全愛國商 泉城府黄金町二丁目一五九** 

其他シデ紐紙紐 布ウエス各種糸ご紐

陸上用口一。荷造用廠, 糸 ブ

秋岡南會

館員 瀬曼器の元祖の意本はマンナギ、利量器機部、利益の14年ランナギ、利量器機部・利益の14年の一般がある。

場で時局部演を他かせると共にニ 日大部落城日に該位者四百餘名を 共に時局認識の徹底を聞るため八 せしめ勢種を行ったのら、永賀劇 " ESTABLIF

香煙

悲

艦旗

光英観じて討つべしの決意を重 に固め所事物所をはじめ各官公

林町二五一朝鮮川柳・園では~玉 国王群第士忠郎川柳』を弥集する 解々といる壁で一般から『アツツ

\*玉碎。川柳夢集 ᇟ

工場などでは午前十

武官府へ相つぐ哀悼者の群

合識、心から今は永久に神郎ま 進み出て、森しい館香を遊げてけられた。繁煌の前に一人づつ

を然るのであった【写真=飲食 所で競争する形民】

寛士 忠憲 川柳』と明記の上同会 宛に送ること、なほ選者は正木柳

旗を掛け十二國愛國知員の心かた永登浦では早朝から戸毎に弔

置く發表する

開校記念式 增松中墨

五日故山本元郎の國際日を迎へ

その日の永登浦

っても、あんなに盛つたから、あた 机の上の包を、彼女はフロイス 大いなる祭 ふるさと(十二) 「いゝわ」 [153] 三芳 悌吉(繪) 中野 實(作)

東 大平通程格流貨局 路大平通程格流貨局 路

一號型(三行)

終って校内観然大會を行ふ

中ごろで電車運輸器の最火に燃い 電車に親軍してゐた下往十里町一 九時卅五分ごろ屬梁津邊東大門行飛降りて怪我四日午後

加川酯関さん(こ)は漢江橋人道福

て飛び降り頭部に二週間の艦隊を

低つた

『砂点は私の一番可能い女の子

上手がやないよ、ほんたうだ である。あんな上手ばかり云っ に、彼女は起上つたらしく、すぐ バチンとスキツテを捻った瞬間 電話員

よ。私が怒つたのは、君を受して 「盛してゐたら、怒る響はない 彼女の口を左手で抑へ、右手に歓 し彼女は叫んだ。英子は紫早く

しつかになざい。騒ぐとめなた と無点の耳もとに聞いた。

ふと共に動勢好感の粉神を叩き 田権にいしい腱村へ汗の器仕を行

まうと永登浦青年陳北部分除力

だからすぐ顔に出るのだ のだ。日本人は怒つたやうな顔をんな感化を持つてゐるか知らない 君は、人間の愛情がど したち外國人は正直の生命がない。

貸家交換 際

飛び込んだ幸福の交通信號曲十二人がラフスので通信號を対している。

- 蒐集の 御相談は

京城政策の大丁自家出班東局(5)二、七八六系東局(5)二、七八六系第一局 話開通

日本二ユー

電話本局 一番 ス

日本ニュースサーを変換が戸り、サールの大学を変換がラフィッと家庭がラフィッと家庭がラフィッと家庭がラフィッと家庭がラフィッと家庭がラフィッと家庭がある。

確かに

よく効く

日曜日代十一時一分開設 日曜日代十一時一分開設 日曜日代十一時一分開設

記

京日案内

中野高等

好い時期です今 が 一番 差上ます 村 ጳ

測機會精密測量製圖器機

**恶病皆** 

職場に仁丹

つめ

へは一碗の密砂が配蔵く敷き組め、した中に設けられた実験の自じ場、がて午前八段学戦家ならびに特別・成まで高量され、難門から発場、経典が温まれる、飯幣を娶り廻ら、國の契撃を迎べるに相覷しい、や郷んまで高量され、難門から発場、経典が温まれる、飯幣を娶り廻ら、國の契撃を迎べるに相覷しい、や郷のよう店摘じ設けられた繁雄は早期、天像の上に一度高く脅のなら話を、の歌徹する都然たる存むは率に燃けった。

放元帥を讃ふ

相對日放送

トラホーム 角膜炎炎 藥眼正純

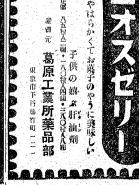












計油劑の價値はA・ 粒のビタミン含有量 四元383 際領地 含有量で決まる D Ø



慰問に



高貴薬の配剤に、効果ある

誓つて繼がん山本魂

各原長幹部及び割物、繊維、出版版の自は五日午前六時五十分から て本社に献金方を寄託した

社員鍊成會

と り平日参拝人の四輛頭を敷へ終日 の るのである、午前中職開参拝二千

總督府の遙拜式

像國民が心からなる哀悼の裡 た改山本元帥國罪の日京激

京畿道廳

二十一国九十銭以、一十一国九十銭以、 は側径序にて網絡分級下収録問題は細胞次第社員参上仕録

◎朝取新株!



| 精神力も體力も強い



山本源作商店

原年別者を示さる記述は) ・ の数等、関係、アル・等の 生活対象を関語され場話が 数は行れて数額に込むな れに供給が条件に対合うし 類が同音を開音される 京説明治町一 日曹に着目せよ 復配、增資!!期待 國葬に敬弔 THE STATE OF THE S

海亞東大和護で断

ふの市況 (語画)

戦金挺入れ

主催者 原、生・台・朝・鮮・支 部 郷神・宮崎 桑田先生 場所・軍場の東西は乗の 東京の東西は東西 東京県東西東京の東西

京福學 大講演 

後二國北歐(15時間 16月天野橋村 編)

放山本元帥の

輝式を駆行した、定郷五分削、

海軍武官府

特迷高段后膝拔

京城美術倶樂部八日正午より 欣兒先生

買妙味ある大日本兵品 安東證券株式會社 激大作 大学 を 大学 を の 感 第三七七號

沓"味"色"効

程道水震器に報告が共つたが昨年 日八百貨の鯖の初漁あった旨この 【大知電話】驚険品では去る世

欝陵島鯖の初漁

東亞證券米豆株式會社東亞證券米豆株式會社

t 佐々木 ₹ 高鈴

那 4 宝 a

日·明

は曜

山本元帥國難の日五日をドレて京 | 器を観察しよう――

と高台民(知

全鮮の文廟から續々

た海戦を認みの太平洋へ西米英本

本府の垂範、早く単十二萬圓

職力際盟において纏めあけ根ふ半

間の全動男人の赤賊と闘勇を乘せ 祭器を献納

者勞勤鮮全 動運起骤總

軍機を國葬日に海

この決意航空機献納